

## 第1 基本方針

天草地域の農業は、海岸島しょの温暖な気候を活かして、早期水稻、かんきつ類、野菜、花きなどを組み合わせた複合経営が営まれている。

かんきつ類では、不知火系統（デコポン）、「河内晩柑」、ポンカンなどを主体とした中晩柑類が特産品として定着しているが、近年「不知火」のこはん症発生が問題となっており、その要因解明と発生軽減技術の開発が早急に求められている。また、温暖化の進展に伴い亜熱帯果樹の導入環境が整いつつあり、天草地域に適する新品目が期待されている。

このようなことから、天草地域の気象条件を最大限に活かし、高品質・低コストの売れる農産物づくりにより農業農村の持続的な発展を図るため、適応品目や品種の選定、生産安定、品質向上技術の確立に向けた試験研究に取り組む。

## 第2 重要研究事項

### 1 天草地域の魅力を発信できる新品種の選定

亜熱帯果樹として有望なライチ及び近年注目されているアボカドについて、天草地域に適した品種の選定と連年安定生産を目指し、隔年結果是正及び着果安定技術を確立する。

### 2 天草特産カンキツの高品質果実生産技術の開発

天草特産果樹である「河内晩柑」、ポンカンの高品質果実安定生産のため、ヒリュウ台「河内晩柑」の着果管理技術やポンカンの摘果方法の改善を行う。

露地栽培不知火系統では、早急な解決が求められているこはん症発生軽減技術を確立する。また、年内に出荷できるカンキツ類が、県内外で新たな品種が開発され、天草地域での栽培も期待されている。このようなことから、新たな年内出荷できる有望品種について、天草での特性を把握し、栽培技術を確立する。

### 第3 試験研究課題一覧

【天草農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
果樹	1. くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定	(1) 亜熱帯果樹の優良品種の選定及び連年安定生産技術の開発	1,249	県単	① ライチの優良品種の選定 ② ライチの着花・着果安定技術の確立 ③ アボカドの優良品種の検討	H28～H30 H28～H30 H28～H30
		(2) 天草特産果樹の品種選定と栽培技術の確立	421	県単	① 国・県育成系統の適応性検定 ② カンキツ・ビワの生育状況・収量予測	H8～継続 H26～継続
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 天草地域特産カンキツの栽培技術の改善	1,105	県単	① ポンカンの栽培技術の改善 ② ヒリュウ台「河内晩柑」の生産安定技術の確立	H29～H31 H29～H31
		<b>新規</b> (2) 天草地域における年内出荷用カンキツの特性把握と高品質果実生産技術の確立	908	県単	① 年内出荷カンキツの品種特性の把握 ② 栽培方法の違いによる高品質果実生産技術の確立	H30～H32 H30～H32
		(3) カンキツ「不知火」等のこはん症軽減対策技術および着花安定技術の確立（再掲・抜粋） （暖地における果樹の安定生産技術および温暖化緩和技術の開発）	400 (令達)	外部資金	② こはん症発生軽減技術マニュアルの作成と現地実証 [天草農業研究所・果樹研究所]	H30～H31

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

**組替**：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

**延長**：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

**短縮**：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題